

一地域の歴史を未来へつなぐ



古文書

東海道五十三次 在野

白子大船回

旧鈴鹿市聯合 昭和38年

みんなの郷土資料室

デジタルアーカイブ

紙芝居観覧さん 昭和30年代

昭和17年 神戸中学校生徒による船列り運動分団

伊勢型紙 光琳権楽

学校船列の様子

「こんな写真はじめてみた」「昔の鈴鹿ってこんなだったんだ」

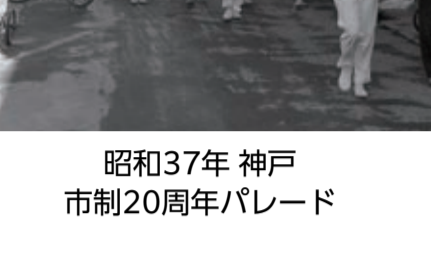
そんな声が、いま市内外であがっています。

今年4月、本市の歴史と文化の宝庫である郷土資料室の収蔵資料をデジタルアーカイブとして公開しました。その名も

「みんなの郷土資料室デジタルアーカイブ」。

誰でも、いつでも、インターネットで資料を見ることができる新時代の資料室です。現在、公開している資料は約8,000点！これからもどんどん追加していく予定です。皆さんも、「デジタルアーカイブ」で鈴鹿のルーツをたどってみませんか？

※アーカイブとは記録して保存することです。



昭和37年 神戸市制20周年パレード

みんなの郷土資料室
デジタルアーカイブ



火災で一部焼失した古文書

なぜ今、デジタルアーカイブなのか

地域の文化や出来事を記録する古文書や写真、絵画などの資料は、時間がたつと湿気やカビ、虫食いなどで傷むことや、災害などで突然失われてしまうことがあります。実際に、地震や水害で貴重な資料が失われた例も少なくありません。こうした大切な資料を記録・保存していくために、全国的に電子化（デジタル化）が進められています。

「デジタルアーカイブ」というと少し難しく聞こえるかもしれませんが。簡単に言えば、昔の写真や記録をパソコンやスマートフォンなどで見られるようにすることです。これによって、貴重な資料を守るだけでなく、収蔵している場所に行かなくても、自宅から地域の歴史や文化を調べることができるようになります。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」見ることができ、地域の大切な宝物を未来に伝えていくための新しい「記憶のかたち」として、本市では資料の「デジタル化」に取り組んでいます。



デジタル化することで資料を守り後世に残す

主な収蔵資料を紹介

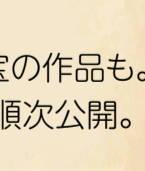
※QRコードを読み取ると資料を閲覧できます



昭和32年 江島魚屋さんで買い物中

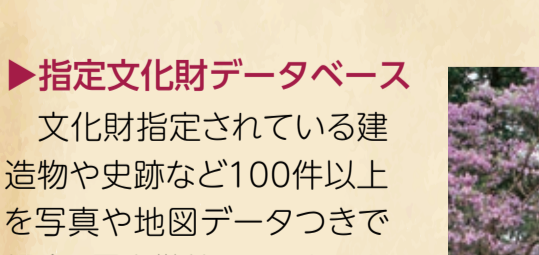
▶古写真（明治～昭和）

100年以上前からの鈴鹿の暮らしや風景がよみがえります。懐かしいモノクロの世界に、昔を思い出してみませんか。



▶伊勢型紙（江戸～昭和）

江戸時代から昭和まで、中には人間国宝の作品も。1万点を超える伊勢型紙のコレクションを順次公開。

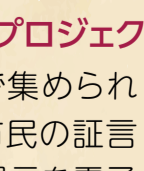


突彫（人間国宝 南部芳松の作品）



▶指定文化財データベース

文化財指定されている建造物や史跡など100件以上を写真や地図データつきで紹介。歴史散策のヒントにも。



稲生山のツツジ

▶「鈴鹿の記憶」プロジェクト

市制70周年で集められた、100人超の市民の証言と有識者からの提言を電子ブック化しました。軍都と呼ばれた鈴鹿の戦中戦後の暮らしなどを掲載しています。



